

授業科目	形成再建外科学（講義・演習、演習・実習）（形成外科専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本形成外科学会専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	耳鼻咽喉科学、整形外科学、歯科口腔外科学、脳神経外科学など
年次・期別	1年次－2年次	曜日・時限	（講義）月・木曜日：午前7時30分～8時30分 火曜日：午後7時～8時 （演習・実習）月～金曜日 終日
教室	形成外科大学院生研究室、形成外科医局 カンファレンスルーム	担当者電話番号	086-235-7212（木股敬裕）
担当教員	【研究科】教授：木股敬裕、准教授：難波祐三郎、 【病院】講師：長谷川健二郎		
一般目標	形成外科学に関する広い学識と高度先進治療を取得し、形成外科専門医としての素養を身につける。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 形成外科が扱う疾患について全般的に理解し、それぞれに対する治療法に習熟する。</li> <li>2) 日本形成外科学会専門医獲得についてのガイドラインに沿って症例を重ね、大学院修了時には専門医試験に必要な症例数を経験し、試験問題対策を完了する。</li> <li>3) MRCP (Microsurgery Research Center Program) に沿って、マイクロサージャリーの技術を取得する。プログラム終了時より、切断指再接着等の臨床を許可する。</li> <li>4) 自ら研究計画を立案・実行し、大学院修了までに論文投稿を行う。</li> </ol>		
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 形成再建外科セミナー（木股、難波、長谷川）： 教室員の presentation である。教授から若い医師まで全て、年数回を担当し、1時間でテーマに沿った講義を行う。最新の知識の習得のみならず、1時間という与えられた時間内で、いかに個人の考え方や、これから進めて行きたい研究などを効果的に発表する能力を身につけることが目標である。このセミナーにおいて、研究成果を発表していく。</li> <li>2) Morbidity and Mortality（木股、難波、長谷川）： 臨床症例を提示し、その問題点を解析し発表する。研究テーマの基となる非常に重要な内容となる。</li> <li>3) Core Curriculum（木股、難波、長谷川）： 絞られたテーマで、基本となる論文から最新情報までを教室員が分担して調査し発表する。広く・深く知識を獲得するのが目的で、年数回行われる。</li> <li>4) 術前術後症例検討会（木股、難波、長谷川）： 各手術症例について、術前、手術法について検討し、術後にはその結果について検討する。これにより術式の確立を図る。</li> <li>5) 教室内講演：院内外から、形成再建外科に関する講師を積極的に受け入れ、臨床・研究の最先端の知識および議論方法を習得する。更に、医療関係者以外の講師も受け入れ、医療に必要な全人的な素養を身につける。</li> <li>6) 学会活動：国内外において、積極的に臨床・研究内容を発表する。</li> <li>7) 論文作成：国内外で発表した演題は常に論文として投稿する。</li> </ol>		
テキスト・参考書等	各テーマに必要な情報は提供するが、基本的に情報を探し出すことも研究技術の一環であり、ぜひ身につけてほしい。すなわち積極的に自ら論文検索し、最新情報を入手する。ただし得られた情報自身も100%鵜呑みにせず、検証するよう心がける。		
成績評価基準 成績評価方法	毎週の研究報告、年数回の学会発表、英語論文投稿、研究態度などを総合的に判断して評価する。自ら手がけた手術症例についてのプレゼンテーションについても評価の対象である。		
研究活動との 関連	研究活動は、教員の臨床・研究内容と関連し、それらをより発展させる目的になることが多いが、研究者の独創的な研究を基本的には妨げない。		

基礎実習	1年次に3カ月の期間を決めて、Microsurgery Research Centerにてマイクロサージェリーの基礎手技を会得する。それはシリコンチューブを用いた微小血管吻合練習から始め、鶏肉の血管剥離と吻合、次いでラットを用いた遊離皮弁移植あるいは切断肢再接着の訓練を行うものである。
臨床実習	最初の3カ月は手術助手として積極的に手術に参加し、その後は日本形成外科学会認定専門医資格を取得する事を前提として、それに必要な各種疾患（11項目）に対する手術の執刀を行う。
症例検討会	毎週月・木曜日午前7：30から術前症例検討会を行い、3カ月に一度火曜日午後7：00より術後症例検討会を開催している。
講義日程	<p>木股教授、難波准教授、長谷川講師が定期的に行う Core Curriculum、教室員による Stuff Presentation あるいはM&amp;M（Morbidity and Mortality）Conferenceは毎月第2または第3火曜日の午後7:00から行う。また院内外から招聘した特別講師による招待講演を年に5～6回計画しており、それぞれの日程については不確定であり、確定次第毎月の医局情報通達メールにて通知する。</p> <p>現時点で予定している招待講演は以下の通りである。</p> <p>百人町アルファクリニック院長 与座 聡先生：形成外科医が行うボランティア（仮題）  MD Anderson cancer center 須網 博夫先生：放射線学的リンパ管研究法（仮題）  岡山大学整形外科准教授三谷 茂先生：四肢新鮮外傷の治療（仮題）</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第52回日本形成外科学会総会・学術集会  日時：平成21年4月22日（水）、24日（金）  会場：パシフィコ横浜</p> <p>第18回日本形成外科学会基礎学術集会  日時：平成21年10月1日（木）、2日（金）  会場：都市センターホテル</p>